

山行報告

■書写山 4つの参道をあるく

- 日 程：1月16日(日)
- 参加者：L島谷 SL野村 尾内 垣内 高島 徳本 春本 松下 松本(聡) 森本
- 行動記録：刀出駐車場 8:05 発～鯉尾坂登山口 8:45 発～鯉尾坂上 9:50 発～六角坂上 10:15 発～六角坂登山口 11:00 発～西坂登山口(11:30 着)11:40 発～西坂上・摩尼殿(12:15 着)13:10 発～山頂 13:20 発～刀出坂上 13:50 発～刀出駐車場(14:30 着)

◆厳かな書写山円教寺

松本

播磨地方に生まれ育ちながら、書写山(円教寺)へ参ったことがありませんでした。

何本かある参道のうちの4本を登ったり下ったりして、とても長い距離を歩くことになるので完歩できるか不安でしたが、参加してみることにしました。集合場所へはナビを頼りに行くつもりでいたのですが、「一緒に行かないか」とお声をかけていただき、便乗させていただくことになりました。駐車場がわかりにくい所にあつたので、とても助かりました。

一般道を歩き、鯉尾坂登り口からまず1本目を登ります。岩や木の根が丁度良い高さの段になっていて、歩きやすいなと思いましたが、落葉が重なり濡れていたので、滑らないように気を付けて歩きました。山自体はそんなに高くないと教えていただいたので、少し気持ちが楽でした。

登りきり初めてみる摩尼殿はとても荘厳な雰囲気がありました。その下を通りすぎ、2本目である六角坂参道を降りていきます。小川に沿った道は随分な距離を落葉が掃き除けてあり、参拝者への気遣いに感謝しました。

次は3本目の西坂の登り口まで一般道を2kmほど歩きます。一人だととても長く感じるだろう道のりが、皆さんと一緒だと案外楽にこなせてしまうのが不思議です。兵庫県立大学の正門前を通る時には、大学入試共通テストを受けている受験生にエールを送りました。大学の横の坂道を上り、日吉神社横の西坂参道を上っていきます。ここはアスファルトの道で車も通ることができる道ですが、一般車は入ってこないのので、その点では安心して歩ける道でした。でも勾配がきつくこの日一番の難道でした。途中にある文殊堂で休憩する時には息が上がり、汗が噴き出ていました。



再び摩尼殿にたどり着き、広場でやっとの昼食をとりほっと一息です。その後摩尼殿横から書写山の山頂、三つの堂(大講堂、食堂、常行堂)をめぐり、4本目の刀出坂を下りていきま

した。この道も小川に沿っているので、水音を聞きながらの下りでした。道自体はそんなに歩きにくい道ではないのに、だんだん足が疲れてきたのか少しの段差にも躓くようになっていました。駐車場に着きザックをおろした時に「終わった～」と思いました。最初不安だった歩行距離17キロを歩ききることが出来、ホッとしました。

■雪の三室山を登る

<アルプ>

- 日 程：1月23日(日)
- 参加者：L竹内 SL須増 尾内 岡田 木下 笹木 平井 松下 三木(悦)
- 行動記録：竹呂山登山口駐車場9:20 発～三室山登山口(10:55 着)11:06 発～三室山 1031m 地点(13:00 着・昼食)13:20 発～竹呂山登山口駐車場(15:00 着)

◆三室山登山

木下

2台の車(竹内号、平井号)は午前6時に宝殿駅北側に集合、宍粟市役所の駐車場で尾内さん、松下さん、岡田さんと合流、岡田さんは自身の車で行くことになり3台で三室山に向かう。

道の駅ちくさでトイレ休憩。少し行くとちくさ高原スキー場へ行く道と分かれる。道の両脇には雪が積もって進むほどに雪の壁は高くなり道幅は狭くなってきた。

道の行き止まりに狭い駐車スペースがあったが、路面が凍結しているため1台の車がスリップして操作できなくなってしまう。タイヤの下にタオルを敷いて何とか動かすことに成功、この間、到着して1時間以上が経過してしまう。



全員、ワカンを履きストックを持って出発する。雪が多くワカンを履いていても足が沈み込むため歩きにくい。それでもはじめのうちは先に登った人が踏み込んでできた雪道だったので歩きやすかったが、途中で踏み跡のないルートを歩きだした。新雪に近い柔らかい雪なので傾斜の少ないところでも足が雪に膝ぐらいまで入り、先頭を歩く人への負担が大きくなる。傾斜がきつくなると雪は腰の高さになり少しずつしか進めない。先頭を歩く人の体力の消耗がはげしくなる。ラッセルのしんどさを十分に体験することができた。

1,000m付近の少し傾斜の緩やかな地点に到達したのが13時頃、昼食をとる。ここで、我々のグループより先に出発した4人のグループが下りてくると出会った。姫路山岳会のメンバーだそうで、13時までには三室山まで行くことができそうにないので、予定どおり引き返している、とのことだった。我々のグループもここから引き返すことに決定した。

下りは何人かが通った雪道を歩いた。個人的なことで恐縮だが、ゴール地点まであと少しというところで、慣れないラッセルのせいかわたし(太もも)がつりはじめその痛さに往生した。

雪道、特に新雪が積もったところを歩くには、前に行った人の踏み跡をトレースして歩くのが賢明だ。雪が積もり、無雪期の登山道がわからない状態で進む場合、今、自分たちが歩いているのはどこなのかを確認しながら歩くことの大切さを感じた。

ゴール地点でワカンを外し、車に乗り込む。リーダーの竹内さん、ワカンやピッケルなどの準備ありがとうございました。新雪にはワカン（もしくはスノーシュー）が必要なのがよくわかりました。次は氷ノ山登山を2月に予定しているとのこと。私（木下）は行けません、行かれる方、雪の氷ノ山を楽しんでください。

■六甲ロックガーデン代替え⇒高御位山

- 日 程：1月30日(日)
- 参加者：[1班] 砂川(延) 野村 乙坂 島谷 春本 待場
[2班] 三木(悦) 小田 黒本 佐野 福原
- 行動記録：市ノ池公園・みどりの相談所 9:00 発～[1班]阿弥陀墓園登山口 9:30 発
[2班]豆崎登山口 9:33 発～古墳跡(9:50 着・1班2班合流)～豆崎奥山 9:58～大谷山 10:10～地徳山 10:36～百間岩 11:04～鷹ノ巣山 11:54～市ノ池公園出合～鉄塔下～市ノ池公園駐車場(12:50 着)

◆高御位山

砂川(延)

コロナウイルス・オミクロン株の急激な拡大が止まらない状況から、1月30日(日)に予定していた六甲ロックガーデンから一軒茶屋への山行を中止し、代替え措置として高御位山へと変更してはと、参加予定の高砂・加古川在住の運営委員に呼びかけてミーティングを行い意見交換を行った。

結論として、当日は自由参加で高御位山を歩くことにした。みどりの相談所前に集合して、豆崎登山口と阿弥陀墓園からの2ヶ所から入山することにした。

当初は入山口まで、みどりの相談所前に集合して、車に乗り合わせ国道2号線沿いのローソンまで乗り付けて歩く予定だったが、現地入山口、2ヶ所へ徒歩で行くことになった。

豆崎登山口からの登山道は1月の高森ボランティアで登山道の草刈りや枝打ちを行ったルートだった。豆崎登山口はかつて高森ボランティアで登山道の整備作業を行い、登山標識を立てて以来、JR曾根駅からの登山者が、従来ある豆崎集落からの入山口より分かりやすいためもあってか良く歩かれている形跡がある。従来からあった阿弥陀墓園からのルートが、それ以来どうなっているのか確認するため、今回2か所に分かれて入山する理由であった。



古墳跡で合流した後、豆崎奥山、大谷山、地徳山、百間岩、鷹ノ巣山、市ノ池公園出合を通過して市ノ池公園駐車場に下山した。

当日は良い天気にも恵まれ、はるかに瀬戸内の素晴らしい景色を眺めての稜線歩きは、本当に気分の良い山歩きだった。

この高御位の稜線は高御位山の頂上に至るまで、何度歩いても瀬戸内を眺めながら歩ける素晴らしいルートであり、地元の山であることに何処の山にも負けないと誇りに感じている。